

韓国ソウルはどんな街？①(交通編)

ソウルと聞くとどんなイメージがあるでしょう？戦争中とか慰安婦問題や徴用工の問題など日韓関係は今一つ大変というイメージ？反対に、エンターテインメントでは BTS をはじめとした韓流スターや冬のソナタに始まる韓流ドラマブーム。それぞれの感じ方があるのではないかと思います。基礎データは次のようです。

①正式国名	大韓民国
②首都	ソウル特別市
③人口	約5200万人(日本のほぼ半分)
④面積	10万平方キロメートル(日本のおよそ4分の1)
⑤時差	なしなので、日が沈むのが少しおそい(ような)
⑥公用語	ハングル
⑦通貨	ウォン(現在円に0を一つ増やすとウォンになる) 日本の100円 → 1000W

この1年住んでみて(もちろん学校での仕事が本分なのでそんなにはっきり言えないところもありますが…)とにかく韓国人はみんな優しい感じがします。みんな幸せそうで、治安がとてもいいと感じます。ただ、地域性(テレビ局などがたくさん集まる街)もあるかもしれませんが、たばこを吸う人がかなりいるように感じます。

治安がいいと言えば、先日若者がカフェで、たばこを吸いに行くとき、4人全員が一斉に外に出たのですが、財布、携帯、サングラスなど貴重品をすべて机の上に置いていったのです。これは日本ではなかなか考えられません。

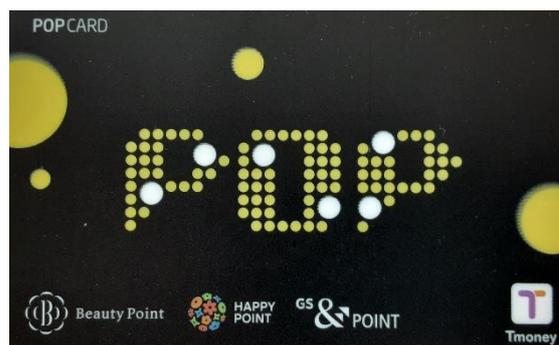
また、信号が赤でも右曲がり(日本なら左曲がり)は自由に出来ます。もちろん歩行者に注意しながらです。日本のような「止まれ」がないので、交差点では止まらずに横断歩道まで進みます。テイクアウトが常識のような社会なので、バイクは堂々と歩道や歩行者天国をスピードを出して走り抜けていきます。

そんなソウルの街を、韓国人は颯爽とコーヒー片手に歩いていくのです。交通システムも大変便利で、ソウル市内を様々な乗り物が網羅しています。そんなソウルの交通について今回は伝えします。

※交通カード

ソウルっ子が一番使うのは何とんでもバスです。ソウルでは、現金はほとんど使いません。右の T-mony (ティモニー) という交通カードを使うのが一般的です。日本の Suica と同じと考えると OK です。

(右は私のもので、デザインは色々)



このカード、バスをはじめ、地下鉄、タクシーなど乗り物だけでなく、コンビニでも使うことも出来ます。地下鉄の駅や、コンビニなどで、チャージをしながら使います。例えば地下鉄は現金（紙のきっぷはないので、1回きりの磁気カードを買うことになります）だと初乗り1350W（135円）T-monyカードを使うと1250Wになります。旅行でも、このカードを買う方が便利でお得になります。

①バス

ソウルっ子が一番使うのは、何といたってもバスです。バスはすべて番号が振られており、自分がよく使うバス（番号）はみんな覚えています。私も、よく使うバスがありますし、どの番号がどこへ行くかだいぶ覚ええました。バスにも種類があります。おもなものをご紹介します。

緑色は支線バスで、駅から行きづらい場所をカバーしています。青が市内バスでもかなり長い距離を運行する幹線バスになります。緑バスは短い距離を走っていると考えるといいかもしれません。青バスはソウルの東端から西端、北の端から漢江を渡って南の端など市内を縦横に結んでいます。



(支線バスは緑色)



(青いバスは幹線バス)

赤色は広域バスで、青バスよりも長い距離を走ります。ソウル近郊の市まで行くときには大変便利です。緑、青に比べると少し料金が高めに設定されていますが、座席車で、日本で言うところの観光バスの雰囲気です。

逆に下の緑のミニバスは、本当に近隣を走るもので、「麻浦（マポ）18」と言い、私たちが暮らしているま麻浦区が運行しています。駅から住宅へと運行します。



(赤バスは江南へ行くときに便利です)



(マポ18は駅から我が家の前まで)

この他にも、高速バスや空港バスなどありますが、普段の生活では前記のバスをソウルっ子は毎日のように使っています。

②地下鉄



ソウルの地下鉄は現在全部で9路線。日本で言うところのJRに当たるKORAILが1号線など地下鉄に乗り入れをしています。地下鉄は、右側通行で、1号線などKORAILが乗り入れている線は日本と同じ左側通行で運行しています。

現在すべての駅で、ホームに転落防止ドア（スクリーンドア）が設置されており、車両を撮影することが難しいです。（残念！）

左はインターネットからいただきました。転落防止のスクリーンドアがすべての駅についているところは素晴らしいです。日本でもつけているところもありますが、大変お金がかかり、まだまだ整備が追いついていないのが現状です。ソウルでは、すべての駅に設置されていて、すごいことだと思いました。ただ、もしかして自殺が多かったのかな、と勘繰ってしまう面もありました。とにかくこれがあることで大変安全です。

③鉄道



鉄道は韓国国内に約3000キロ伸びており、2004年に開業した韓国高速鉄道（KTX）がどんどん延伸しています。運航しているのは、日本で言うところのJRにあたる韓国鉄道公社（KORAIL）で、高速新線がどんどん建設されています。

現在はKTXが主流で、一番の幹線である、ソウル—釜山約400キロを約2時間40分ほどで結んでいます。KTXが日本の新幹線とすると、ITXという日本の在来線特急に当たる列車もあります。ムグンファ号という日本ではもう少なくな

（通勤型普通電車＝京義線を走ります） った急行に当たる列車もあります。それぞれ役割があり、KTXは新線を通り最速でお客を運びます。ITXは、在来線を通りお客を運びます。ムグンファ号はそのまたローカルな線をゆったりと走っています。

韓国の軌道は日本と違って、すべて標準軌の1435mmで新幹線から在来線へと自由に行き来ができます。それにより、KTXも新線を通りながら時間を稼ぎ、そのあと、在来線に入り新線にはない駅に止まることで利便性を図っています。これにより利用者も便利なんだと感じました。

値段も安く、日本の半分といったところでしょうか。だからか、このコロナ渦でもいつもほとんど満席に近い状態です。



(フランス TGV ベースの初代 KTX)



(国産の KTX 第 2 世代=サンチョン)



(在来線を駆け抜ける特急 ITX)



(韓国の花が名前のムグンファ号)

④ タクシー



ソウルのタクシーは、オレンジやシルバーの一般タクシーと黒の模範タクシーという種類に分けられます。もちろん、私は一般タクシーしか乗ったことがないのですが、とにかく安く使い勝手は抜群です。初乗り 2 キロまで 3800W (380円) です。日本語が通じることはありませんが、カカオタクシーというアプリがあり、携帯でそのアプリを使うと、今いる場所と目的地を打ち込めば運転手と話をすることもなく目的地まで行くことができます。

アプリで、目的地を打ち込むと、近くのタクシー運転手が応答します。タクシーのナンバーと運転手の写真が自分の携帯に表示され、あと何分で到着するかも表示されます。そのタクシーがどこにいるか、どこまで来ているかも地図で表示されるので安心です。支払いは、いつもクレジットカードです。

その他に、たくさんの人数で利用する場合は 6, 7 人乗りのジャンボタクシーもあり大人気で観光する場合は大変便利です。以上ソウルの交通乗り物でした。